

”絆”きずな

出版責任者

訪問リハビリ
テーション振興
委員会

平成26年度 第1回 訪問リハ地域ブロック連絡会議を終えて

昨年11月30日（日）に第1回の会議が、6人のブロックリーダーと関係者4人の計10人で開催されました。効率化を考慮しWebシステムで行いましたが、本番前までのリハーサルも功を奏しトラブルもなく実行できたことに深く感謝申し上げます。会議の中では、事前のアンケートを基に、実務者研修会の次年度の内容、地域リーダーの役割、訪問リハ振興財団の方向性について意見が交わされ、各ブロックリーダーから十分に意見をお聞きすることができました。さらに振興委員や研修班からも現状をお伝えすることができました。大変有意義な会議だったと思います。会議録は1月中旬に送信するかたちで準備を進めておりますので、ご確認の程よろしくお願いたします。

一般財団法人 訪問リハビリテーション振興財団 組織化班 班長 阿部 勉

事業所リレーエッセイ⑩(気仙沼)

沖縄県の離島・僻地医療に興味を持ち、理学療法士を目指した時から十数年。病院勤務を経て、あこがれの訪問リハビリテーションにやっと辿り着きました。長年住み慣れた沖縄を離れるのに抵抗はありましたが、いざ気仙沼へ来てみると、そんなことはすっかり忘れていた自分がいました。寒いのは難ですが、温かい面々に支えられ、学びの多い環境にとっても満足しています。医療資源の少ない気仙沼ではありますが、職域を超えた関係作りのできる従事者が多く、強いチーム力があります。この恵まれた環境に感謝し、少しでも地域に貢献できるよう努めていきたいと思っています。

一般財団法人 訪問リハビリテーション振興財団
気仙沼訪問リハビリステーション 理学療法士

橋爪 佳代

今年も訪問リハ通信”絆” 発刊いたします。

新年あけましておめでとうございます。

本年は介護報酬改定が行われ、地域包括ケアシステム構築に向けての山場となるとされています。我々、訪問リハビリテーション振興財団は訪問リハビリ・ステーション制度化に向け更なる活動を行ってまいります。復興特区のステーション延長、5月に訪問リハ・地域リーダー会議開催、訪問リハビリテーション・フォーラム2015開催等、本年度も実りある事業となるように企画・運営に努めていきます。訪問リハ通信”絆”は、それらの事業報告や事業所リレー・エッセイや各都道府県訪問リハ・リーダーによるご当地自慢を継続的に実施していきます。

一般財団法人 訪問リハビリテーション振興財団
組織化班 広報誌”絆” 担当

小林 司

お知らせ

★～東日本大震災復興特区における訪問リハビリテーション事業所～
浜通り、ゆずる、気仙沼の3拠点で職員を同時募集しております！

女性療法士の要望も多数ありますので、皆さまからの沢山のご応募お待ちしております！

詳しくは右記へご連絡ください。TEL:03-6804-1422 E-mail:guidance@japanpt.or.jp